

生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2023年	研究期間	5年間
研究課題名	ブルーエコミー達成のための持続可能な海藻由来機能性食品の開発	貢献する主なSDGs	  
研究代表機関	筑波大学 生命環境系		
相手国	インドネシア共和国	主要相手国研究機関	国家研究イノベーション庁 海洋・陸上バイオインダストリー研究センター
研究課題の概要			
<p>本研究は、世界第2位の生産量を誇るインドネシアの海藻を対象として、環境負荷の少ない効率的な方法で国際競争力のある高付加価値製品を生産し、ブルーエコミー※の達成に向けた海藻産業の持続的発展の基礎を築く。具体的には、(1) 海藻資源のデータベース化と選抜、(2) 栽培法の評価と最適化による海藻生産の効率化、(3) 海藻の機能性成分に関する解析・評価、(4) 機能性食品等の高度加工技術の開発、に取り組む。さらに、海藻産業の改革による環境への影響および社会受容と経済性を、海藻の生産から加工・輸出までのバリューチェーンとして解析・評価することで、海藻産業の持続的な発展へのシナリオを作成する。これらの成果により、将来的には海藻産業のグローバル拠点を確立し、海藻産業の改革・拡大による食と健康への貢献、さらには、雇用創出と経済発展の実現を目指す。</p> <p>※海洋や水域に関連する持続可能な経済活動。</p>			